

師走の候、保護者の皆様には日頃より本校の教育活動にご理解とご協力を賜りお礼申し上げます。

さて、2学期の初め9月1日に本校において初めての郡山第五中学校区地域学校保健委員会が開催されました。目的は、五中学区内の児童生徒の9年間を見通した健康課題の解決や健康づくりの推進に関して協議することです。

当日は四校中1授業参観があり、学区の小学校の先生方がおいでになりました。

中学1年生の成長を見ていただき、その後地域学校保健委員会のメンバーの方々による協議が熱心に行われました。(本校の学校歯科医・学校薬剤師、学区内小学校の校長先生と養護教諭、本校の校長・スクールカウンセラー(以下SC)・養護教諭のメンバー)



◇協議内容

- 1 令和5年度の健康診断の結果(視力低下と肥満傾向の出現、歯科検診の結果)
- 2 1年生の学校生活に関するアンケートから

◇資料についてそれぞれの立場から感想やご意見をいただきました。

- ・歯科の統計からデンタルIQが高くむし歯の罹患率が低い。また、検診でわかることですが五中生は歯の矯正を行っている生徒が多い。
- ・遊びのきっかけを提供して、体を動かす活動を取り入れている。
- ・震災前から本県の児童生徒の肥満傾向が課題となっている。資料から就学前からの肥満傾向が伺えるので、「幼稚園・保育園・小学校合同の会議」の中で共通理解を図れるとよい。
- ・1年生アンケートから「自分のよいところも悪いところもあるままに認めることができる。」の質問に、概ね自己受容ができていところがいいなと感じた。

助言をいただきました。



- 学校歯科医⇒ 少数ながらむし歯の治療が進まない子どもたちについては、冬休み前に治療のお勧めの文書を配付し治療につなげること。コロナ渦で中止していた昼休みのブラッシングについて、できるところから始め、歯と口腔内の健康に努めてほしい。
- 学校薬剤師⇒ コロナ渦で子どもたちのコミュニケーションが落ちてきていることが心配。石けん泡による手洗いは、「きちんと洗う」を意識するとよい。泡のために手洗いの時間が短くなる傾向にあるため。
- SC ⇒ ポジティブかネガティブか、などの感情の大別や、もしくは「大丈夫そうか、大丈夫ではないのか」の大別から自分の感情状態を把握させていくような指導が、生活指導などの中で取り入れられることが望まれる。

五中学区内の小学校の健康診断の結果と五中の健康診断から、改めて健康課題を意識しました。9年間を見通して、学校・保護者・地域が連携し、今後も子どもたちの心身の健康のために、手を携えて取り組んでいきたいと思えます。